

(お知らせ)

平成 26 年 1 月 9 日  
行 財 政 局  
(人事課 222-3232)  
京都市技術管理委員会  
(建設局監理検査課 222-3548)

## 東日本大震災復興支援活動に従事した職員による報告会について

「災害に強いまちづくり」をテーマとした職員研修の一環として、東日本大震災支援活動に従事した職員による報告会を開催します。

京都市では、東日本大震災の発災直後から、幅広い職種の職員を被災地に派遣しています（1月1日現在、17名を長期派遣中。延べ1,649名派遣）。

市民のいのちとくらしを守る基礎自治体としての役割を、本市が将来にわたってしっかりと果たしていくために、これらの職員が被災地で得た知識や経験を他の職員に伝えるため、下記のとおり報告会を実施しますので、お知らせします。

### 記

#### 1 日時及び場所

平成26年1月10日（金）15時10分～17時

御池創生館 地下1階 研修室

※ 主に技術職員を対象とした平成25年度第2回京都市技術管理委員会技術研修部会の第3部として実施

※ 会場スペースの関係上、撮影を行う場合はハンディカメラ等の小型のカメラを使用していただきますようお願いします。

#### 2 次第

##### 15：10 市長挨拶

15：25 被災地支援の体験談報告

16：30 パネルディスカッション

16：55 質疑応答（約5分）

#### 3 出席者

派遣職員6名（裏面参照）

※ 現在、被災地に派遣中の職員4名を含む。

## (参考1) 京都市技術管理委員会及び同委員会技術研修部会主催研修について

京都市技術管理委員会は、副市長をトップとして、各局長で構成される庁内横断的な組織です。

平成10年10月の発足以降、本市の技術水準の向上と、技術管理に関する情報の共有により、公共事業の円滑かつ合理的な遂行を図ることを目的として運営しています。

その部会として、①技術研修部会、②技術検討部会、③事業評価検討部会及び④公共事業コスト構造改善部会を設け、技術的な事項についての調査及び検討を行い、全庁的な情報交換の活性化を図っています。

技術研修部会主催研修は、京都市技術職員（土木、建築、電気、機械、環境、造園、農業、農林整備、化学、畜水産等）を対象に、平成11年度から概ね2回／年実施しており、景観・環境などを研修テーマとして開催してきました。

このような中、平成23年度以降は、東日本大震災を踏まえ、「災害に強いまちづくり」をテーマに設定し、同震災及び南海トラフ巨大地震の第一人者をお招きして、初動の重要性や平時からの備えを学び、臨機な対応を可能とする職員の育成に努めています。

## (参考2) 出席する派遣職員

派遣先	業務内容	職種	派遣期間	派遣職員（所属）
陸前高田市 (派遣中)	弔慰金等支給、被災者生活再建支援等業務	事務	1年 (25.4～26.3)	尾崎 次朗 (行財政局総務課)
仙台市 (派遣中)	東部津波被災地域における防災集団移転促進事業	建築	1年 (25.4～26.3)	大河内 英二 (都市計画局工務監理課)
石巻市 (復帰)	被災市民（仮設住宅入居者）等への保健指導業務等	保健師	3月 (25.10～25.12)	三木 あゆみ (中京区役所健康づくり推進課)
東松島市 (派遣中)	被災した集会施設の管理及び修繕に係る契約、予算執行等業務	事務	2年 (24.4～26.3)	安原 やよい (右京区役所保険年金課)
山元町 (派遣中)	災害公営住宅造成工事監督業務	土木	1年 (25.4～26.3)	楠瀬 秀樹 (上下水道局設計課)
女川町 (復帰)	下水道整備に係る設計及び積算業務	土木	1年 (24.11～25.10)	杉田 広明 (建設局道路環境整備課)

(参考3)平成26年1月1日現在の派遣状況

	派遣職員数	事務	技術	免許資格	その他
陸前高田市	<b>3</b>	3			
仙台市	<b>3</b>		2		1
石巻市	<b>6</b>	1	3	2	
東松島市	<b>2</b>	2			
山元町	<b>1</b>		1		
女川町	<b>1</b>		1		
宮城県	<b>1</b>				1
合 計	<b>17</b>	6	7	2	2